

① 橋本倫史 著

## 『ドライブイン探訪』

(筑摩書房)

かつて日本の道路には数多くのドライブインが点在し、車で旅行する人たちの休憩場所や地域との触れ合いの場となっていました。しかし昨今は高速道路中心の車移動となり、また一般道でも自治体に取り組んでいる「道の駅」が各地で発展したことにより、利用者が減ってしまったドライブインは次々と姿を消していています。

本書は厳しい状況の中、現在も営業を続けているドライブインに著者が何度も通い、綴ったルポルタージュです。旅の移動にまだまだゆったりとした時間が流れていた時代の遺産でもあるドライブインの魅力が垣間見える一冊です。(H.M.)

291.09 ||Has

③ 小日向京 著

## 『惚ればれ文具：使ってハマったペンとノート』

(樫出版社)

我々にとって、あまりに身近な鉛筆やボールペン、原稿用紙や日記帳などの文具。万年筆を除けば、文具店は勿論、コンビニ、100円ショップ、大手の書店などでも安価で購入出来ます。

文具ライターの著者は、緻密で思いがけない視点から、文具の魅力やより楽しめる使い方などを紹介しています。鉛筆一本にしても、デザイン、形状、書き心地から削った前後の切削角度の差異や削りかすの美しさまで、余すところが無く、文具一つにこれほどの魅力や特徴があったのかと驚かされます。掲載されている文具も多様かつ美麗で、ボールペンや鉛筆ですら、万年筆に匹敵するデザインや価格のものもあります。

メモや計算、写真や読書ですらスマートフォンで事足りる現在こそ、知られざる文具の魅力に思いを馳せる時ではないでしょうか。(H.I.)

589.7 ||Koh



② 清水玲奈・稲葉霞織執筆等、他11人

## 『世界の夢の図書館 37 Wonderful Libraies around the World』

(株式会社 エクスナレッジ)

「古今東西の美しい知の遺産が、ここにある」。大昔から人間の知識と経験は文字によって記録され、それを図書館が保管することで、過去から現在に受け継がれてきた、と言われていています。この図書は、そんな図書館の中でも、世界遺産から先進的なタイプまで、世界各地から厳選された世界最高峰の37館が豊富な写真で紹介されています。なかでも美しいのが、図書の配列・配架の素晴らしさ、どれ一つをとっても美しく圧巻されます。是非、図書館の「美」を感じとってみてください。図書館の美しさに圧倒されます。(M.F)

010.2 ||Seka

④ 安藤量子 著

## 『海を撃つ』

(みすず書房)

「原発事故の後、多くの人々が願ったのは放射線の知識を得ることではない。元の暮らしに戻りたい、元の環境を取り戻したい、それだけだ。」

2011年3月11日午後2時46分、東北地方太平洋沖で発生した東日本大震災。その影響により東京電力福島第一原子力発電所が被災し、放射性物質が漏れだしました。震災から8年の歳月が流れ、復興は進んでいるように見えます。しかし現在でも、避難指示が解除された地域の居住率は震災前の半分にも満たしません。ここにあるのは、福島県いわき市に住むある女性の切実な願いと事故後7年半の記録です。(S.T.)

916 ||And